

【ご参考資料】

2018年9月20日
野村アセットマネジメント株式会社

「米国バリュー・ストラテジー・ファンド

Aコース（為替ヘッジあり）/Bコース（為替ヘッジなし）」

■ 下値抵抗のある運用に注目

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年に入り、米国株式市場のボラティリティ（価格変動性）は上昇傾向にあります。この背景には米金利の上昇、貿易摩擦懸念の拡大、米トランプ大統領の様々な発言に対する観測などがあげられます。

当資料では、市場のリスク（振れ幅）の高まりが続くなか、米国株ファンドを選ぶポイントを紹介しつつ、「米国バリュー・ストラテジー・ファンド」（以下、ファンド）の特徴についてご説明いたします。

ファンドの運用について

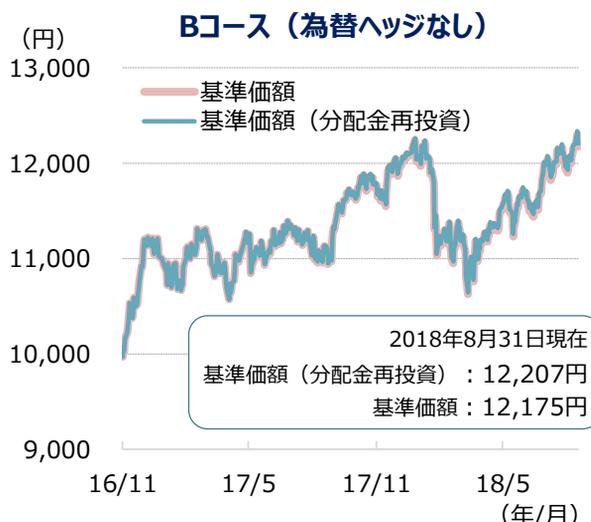
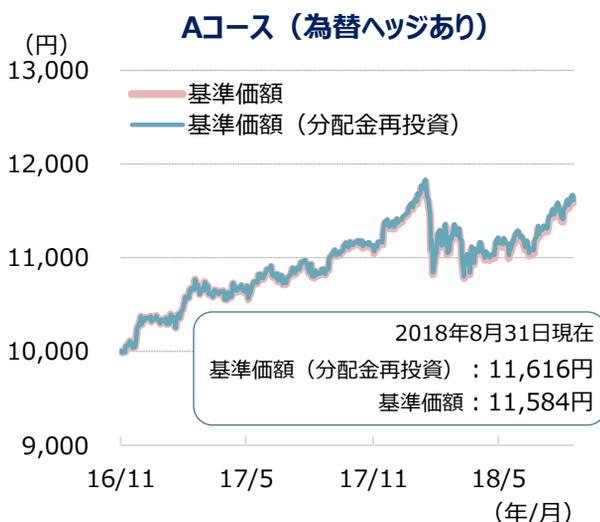
- **米国のハイクオリティ銘柄（優良企業）**をバリュー（割安）の視点で選別
- 大幅な下落を回避するために**CB（転換社債）**を戦略的に活用



資産全体の変動を抑えることで、リスクに見合ったリターンを長期にわたって提供

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

設定来の基準価額の推移 期間：2016年11月15日（設定日）～2018年8月31日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

米企業業績は堅調に推移する一方で、投資家心理に変化

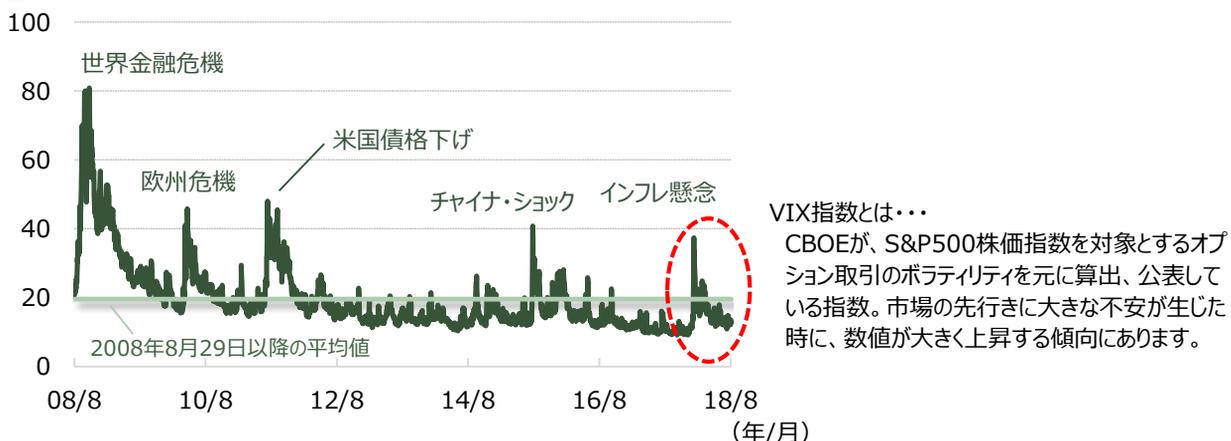
下記グラフは、S&P500株価指数の月間リターンをEPS（1株当たり純利益）成長率と予想PER（株価収益率）の変化率に分けたものです。米企業業績は、2015年は落ち込んだものの、2016年半ば以降上昇基調となりました。一方、予想PERは、2018年に入り下落傾向にあります。

S&P500株価指数のリターン要因の推移 期間：2012年12月末～2018年8月末、月次



CBOE（シカゴ・オプション取引所）マーケット・ボラティリティ・インデックス（VIX指数）は、2017年後半以降高まる局面がありました。VIX指数は、将来の投資家心理を示す数値として利用されており、一般的に数値が高いほど投資家が株式市場の先行きに不透明感を持っているとされています。今後も、米トランプ大統領の政策、FRB（米連邦準備制度理事会）の利上げ動向や高まるインフレ懸念などを受け、米国株式市場のボラティリティが高まることが予想されます。

VIX指数の推移 期間：2008年8月29日～2018年8月31日、日次



（出所）アメリカン・センチュリー・インベストメンツ社（ACI社）提供データなどより野村アセットマネジメント作成

このようにボラティリティが高まる市況環境では、市場のリスクをできるだけ抑える運用（下値抵抗のある運用）が重要です。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

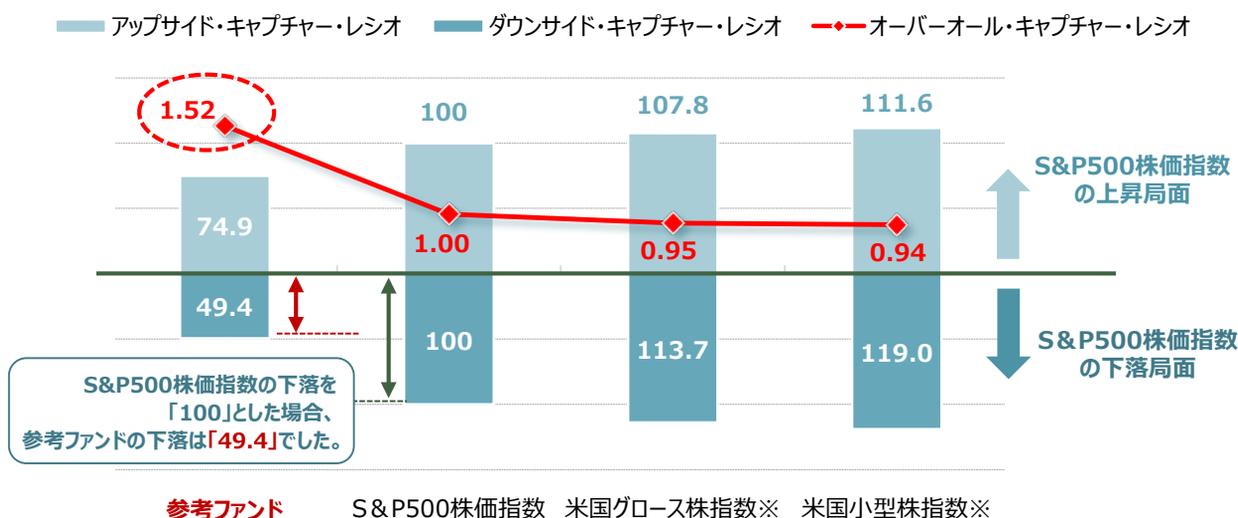
参考ファンドとは「米国バリューストラテジー マザーファンド」と同様の運用体制・方針を持つU.S.バリューストラテジー戦略のコンポジットの運用実績（1994年9月1日算出開始）です。よって、ファンドの運用実績ではありません。あくまでご参考としてご理解ください。

ポイント① 「キャプチャー・レシオ」から見たファンドの優位性

「アップサイド・キャプチャー・レシオ」と「ダウンサイド・キャプチャー・レシオ」とは、市場（S&P500株価指数）の上昇と下落の各局面で、ファンドが市場をどの程度上回ったかを表す指標です。参考ファンドは、上昇局面では、米国グロース株指数や米国小型株指数を下回る上昇率であったものの、**市場下落局面での下値抵抗力が強い**ことが特徴としてあげられます。

一方、「オーバーオール・キャプチャーレシオ」とは、「アップサイド・キャプチャー・レシオ」を「ダウンサイド・キャプチャー・レシオ」で割って算出したものとなり、一般的に「1」を超えると、市場の上昇を享受しつつ下落局面を経て、市場平均を上回るリターンが期待できる**長期運用に適した運用スタイル**であると考えられます。

● キャプチャー・レシオ比較 期間：1994年9月～2018年6月



※米国グロース株指数：ラッセル3000グロース、米国小型株指数：ラッセル2000

上記の「アップサイド（ダウンサイド）・キャプチャー・レシオ」は、S&P500株価指数が上昇（下落）した月のS&P500株価指数の平均リターンを分母、当該月のファンドの平均リターンを分子にして、幾何平均で算出しています。

【参考 ～米国株式市場との連動性を抑えた運用～】

β値（ベータ値）とは、ファンドの収益が市場全体の動きに対してどの程度敏感に反応して変動するかを示す数値で、市場指数との連動性を測る指標の一つです。つまり、低いβ値は、相対的に市場に対し下値抵抗力的な値動きとなり、参考ファンドの設定来のβ値は、0.6（対S&P500株価指数）と低い水準にあります。

	参考ファンド	米国グロース株指数※	米国小型株指数※	S&P500株価指数
β値	0.60	1.10	1.05	1.00

期間：1994年9月～2018年6月

数値が「1」の場合は市場と同じ値動き、「1」を上回れば、市場と同方向により大きく動き、下回れば、市場より小幅な値動きになります。

（出所）ACI社提供データなどより野村アセットマネジメント作成

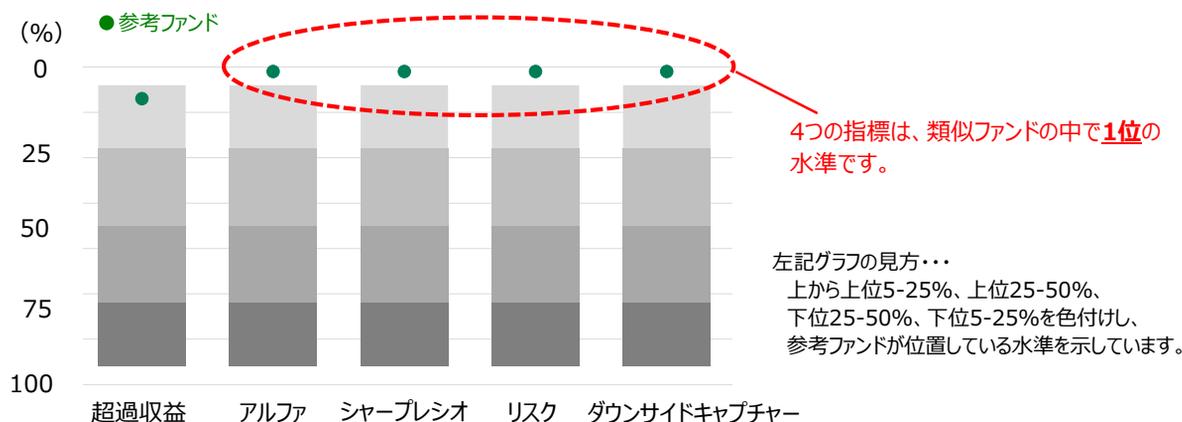
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

参考ファンドとは「米国バリュー・ストラテジー マザーファンド」と同様の運用体制・方針を持つU.S.バリュー・イールド戦略のコンポジットの運用実績（1994年9月1日算出開始）です。よって、ファンドの運用実績ではありません。あくまでご参考としてご理解ください。

ポイント② 各指標から見たファンドの優位性

下記グラフは米国株を投資対象とする米国籍の類似ファンド（69本）を対象とした、各指標によるランキングで、参考ファンドが上位何%に位置するかを示したものです。参考ファンドは各指標において高い水準にあり、**運用効率を測る「シャープレシオ」においても、類似ファンドの中で、69本中1位となり、効率よくリターンが得られています。**

参考ファンドと類似ファンドとの指標比較 期間：1994年9月～2018年6月



	超過収益	アルファ	シャープレシオ	リスク	ダウンサイド・キャプチャー
参考ファンド	1.90	4.78	0.89	10.18	55.11
類似ファンドの中央値	0.71	1.11	0.54	14.45	94.39

類似ファンドの定義はACI基準です。(米国籍の米国大型バリュー・株式ファンドを対象。)

(出所) ACI社作成

超過収益・・・ファンドと市場指数（ラッセル3000バリュー指数）のリターンの差です。
アルファ・・・β値で表されるリスクを調整した後のファンドの収益率が、どれだけ市場平均（ラッセル3000バリュー指数）の収益率を上回っているのかを示す数値となり、数値が高いほど市場指数よりも、リターンが大きいことを意味します。
シャープレシオ・・・リスク（標準偏差）1単位当たりの収益率を測ったもので、数値が高いほど効率よくリターンが得られたことを意味します。標準偏差とは平均的な収益率からどの程度値動きが乖離するか、値動きの振れ幅の度合いを示す数値です。
ダウンサイド・キャプチャー・・・市場（ラッセル3000バリュー指数）下落局面で、ファンドが市場をどの程度上回ったかを表す指標です。数値が小さいほど下落局面での下値抵抗があることを意味します。

参考ファンドは、市場の下落局面時には下値抵抗力が強い傾向にあり、また上昇および下落局面を経て、市場を上回るパフォーマンスを出しており、かつ、ファンド全体のリスクを抑えながらリターンを積み上げていることが分かります。

したがって、グロース株や小型株のファンドと組み合わせると、株式投資を継続しつつ、市場変動の影響を抑え、資産全体のリターンを安定化させる効果が期待できると考えます。

今後とも「米国バリュー・ストラテジー・ファンドAコース（為替ヘッジあり）/Bコース（為替ヘッジなし）」をご愛顧賜りま
すよう宜しくお願い申し上げます。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

米国バリューストラテジーファンド
Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 米国の金融商品取引所に上場している企業の株式(DR(預託証券)^{※1}を含みます。)を実質的な主要投資対象^{※2}とします。なお、投資対象には転換社債等^{※3}、上場投資信託証券(ETF)および優先株が含まれます。
 - ※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
 - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、「米国バリューストラテジー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ※3 ファンドにおいて「転換社債等」とは転換社債、普通株転換権付き優先株、他社株転換社債等を指します。
- 株式への投資にあたっては、時価総額、資本利益率および財務体質等を勘案して選定された銘柄に対して、綿密な調査に基づいたファンダメンタルズ分析を行ない、バリュエーション等を考慮して組入銘柄を決定します。
- ポートフォリオ構築にあたっては銘柄分散に配慮します。また、ポートフォリオの利回り向上、価格変動性の抑制および下値保全等の観点から、組入銘柄の株式への投資に代えて当該銘柄の転換社債等へ投資を行なう場合があります。
 - ◆効率的な運用を行なうため、上場投資信託証券(ETF)を活用します。
- Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「米国バリューストラテジー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インクに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

委託する範囲	株式等の運用
委託先名称	American Century Investment Management, Inc. (アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インク)
委託先所在地	米国 ミズーリ州 カンザスシティ市

- 原則、毎年4月および10月の27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
 - * 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

米国バリュー・ストラテジー・ファンド
Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)

【投資リスク】

各ファンドは、株式および転換社債（CB）等を実質的な投資対象としますので、当該株式の価格下落、当該転換社債等の転換等対象株式の価格下落や金利変動等による当該転換社債等の価格下落や、当該株式および当該転換社債等の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2027年4月27日まで(2016年11月15日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則4月および10月の27日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上10単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、「ニューヨーク証券取引所」の休日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングのお各申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2018年9月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 * 詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.836%(税抜年1.70%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 * ファンドが実質的に投資するETFでは、管理報酬等の費用がかかります。投資するETFを通してファンドが実質的に負担する費用については、運用状況等により、投資比率、投資期間、投資銘柄およびその管理報酬等の費用が異なるため、事前に合計した料率、合計額、又は上限額等を表示することができません。
◆その他の費用・手数料	組入価額証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に
応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

<当資料で使用した指数について>

・S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★
<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式などの値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

米国バリュー・ストラテジー・ファンド Aコース／Bコース

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。